

製品名: KCNG2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12935**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	51kDa

抗原情報

遺伝子名	KCNG2
別名	KCNG2; KCNF2; Potassium voltage-gated channel subfamily G member 2; Cardiac potassium channel subunit; Voltage-gated potassium channel subunit Kv6.2
遺伝子 ID	26251.0
SwissProt ID	Q9UJ96
免疫原	抗血清はヒト KCNG2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 321-370

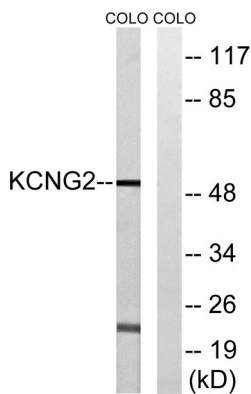
背景

電位依存性カリウム (Kv) チャンネルは、機能的および構造的観点から、電位依存性イオンチャンネルの中で最も複雑なクラスに属しま

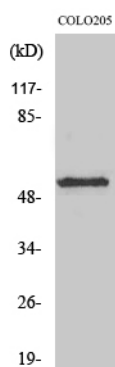
す。その多様な機能には、神経伝達物質の放出、心拍数、インスリン分泌、神経細胞の興奮性、上皮細胞の電解質輸送、平滑筋の収縮、細胞容積の調節などがあります。この遺伝子は、電位依存性カリウムチャンネルサブファミリー G のメンバーをコードしています。このメンバーは、電位依存性カリウムチャンネルの γ サブユニットです。このサブユニットを含む遅延整流型チャンネルは、心臓の活動電位の再分極に寄与する可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],domain:セグメント S4 はおそらく電圧センサーであり、3 つおきに正に帯電したアミノ酸の配列が特徴です。、function:カリウムチャンネルサブユニット。閾値と半最大活性化をより負の値にシフトさせることで、チャンネルの活性を調節する。、その他: KCNB1 とのヘテロ二量体は、テトラエチルアンモニウム (TEA) およびプロパフェノンによる阻害に対して非常に感受性が高い。、類似性: カリウムチャンネルファミリーに属する。G サブファミリー。、サブユニット: KCNB1 とのヘテロ二量体。ホモ多量体を形成しない。、組織特異性: 心臓、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓で高発現する。脳、肺、胎盤でも低濃度で検出される。、

研究分野

画像データ



KCNG2 抗体を用いた COLO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



KCNG2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析